



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

地域医療連携室ニュース

いま求められる医療をもっと高めたい

2013
Vol.2

川崎幸病院 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番地27

循環器科診療体制のご案内



川崎幸病院
副院長/心臓病センター長
循環器科部長

塚本 喜昭 医師



新病院の心臓病センターが大きく変わった点は、心臓血管撮影室が、1室から2室になったことです。これにより、患者さんをお待たせすることなく、スムーズな検査・治療が可能になりました。

さらに、第2心臓血管撮影室では不整脈に対する根治治療である「電氣的焼灼術」(カテーテルアブレーション)を開始しています。カテーテルアブレーションは心臓内の不整脈の原因となる電気信号を発している回路を電気で焼いて断線させ、不整脈の原因自体を解消する治療法であり、この治療法も研究が重ねられ、今ではより安全で効果的な不整脈の治療法になってきました。当院では、以前よりこの治療の準備を進めてまいりましたので、高いレベルの治療を提供できると考えております。

また、新病院では、バイプレーン撮影が可能な心臓血管撮影装置を導入しています。この装置により、これまでより低被曝で、患者さんの負担が少ない検査・治療が行えるようになります。また、画像もより高解像度のものとなり、より詳細な情報が得られるようになるため、治療のレベル向上に繋がっています。

診断という面からは、心臓CT装置と、MRI装置を新たに設置し、より高度で非侵襲的な心臓の画像診断が可能となります。

診断から治療まで、これまでより数倍パワーアップした循環器診療にご期待いただきたいと思います。

当科の診療の特徴

● 循環器救急に24時間対応します

当科では、医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士のチームを作り、24時間体制で救急患者さんの治療を行える体制を整えています。

特に経皮的冠動脈形成術(PCI)数は神奈川県で7番目に多い実績を有しており、他院で対応不能な重症例も断ることなく収容しています。

また、動脈硬化性疾患のうち、下肢動脈、腎動脈の狭窄性病変に対しても積極的にカテーテル治療をしています。また、ペースメーカーの他にもCRT、ICDの植え込みも行っています。

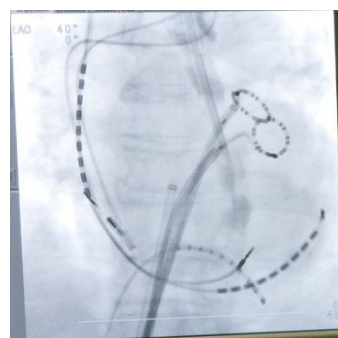


● カテーテルアブレーション治療を開始

カテーテルアブレーションは、頻脈性不整脈の原因となる心臓内の電気回路をカテーテル先端から高周波電流(交流電流)を流し焼灼し回路を断線させる不整脈の根治的治療です。

この治療法では、数本のカテーテルを挿入し心臓の要所に配置し、頻脈発作をわざと誘発して頻脈の種類・原因を特定します。最後に焼灼用カテーテルを標的に押し当て、高周波電流を流して頻脈の原因となっている組織を焼灼し回路を断線させます。

例えば、心房細動では7~8割の方は左心房につながる肺静脈との結合部からの異常な電気信号が原因となっている事が多く、左心房にある肺静脈との結合部4箇所をカテーテル挿入により50~55℃の温度にて焼灼し、電氣的に絶縁することで治療します。



カテーテルアブレーション治療対象疾患

WPW症候群(副伝導路症候群:房室リエントリー性頻拍)、AVNRT(房室結節リエントリー性頻拍)、心房頻拍、心房粗動、心房細動など

症例数

	2010年度	2011年度	2012年度
冠動脈カテーテル検査(CAG)	1,247	1,239	1,272
PCI(POBA・ステントを含む)	421	458	557
カテーテルアブレーション	0	0	73
ペースメーカー植え込み術(PMI)	26	40	49
両室ペーシング機能付き植込み型除細動器(CRT-D)	2	5	15

● 冠動脈集中治療室(CCU)を設置

通常のICUとは独立して、循環器重症疾患に対応するCCUを設置しています。これにより、人工呼吸器による呼吸管理はもちろんのこと、重症循環障害に対する機械的な補助の設備を使用しての全身管理を行なっています。



● 心臓リハにも力をいれています

循環器疾患をもつ患者さんの再発予防、あるいは新たな循環器疾患の初発予防を重要視し、心臓リハビリテーションに力をいれています。

運動処方による運動療法・禁煙指導・食事療法・服薬指導(これらはまとめて包括的心臓リハビリテーションと呼びます)をして、可能な方には通院型リハビリテーションもお願いしています。



より迅速、低侵襲で正確な検査と治療レベルの向上を期待できます



東芝製320列MDCT(第2世代) 「Aquilion One Vision」

このCT装置の導入は日本で5施設目(世界でも7施設目)、臨床で使用するのは当院がはじめての施設です。

特徴は検出器幅が160mmと広く、心臓を1回転(0.275秒)で撮影することが可能(通常40回転)なため、不整脈などの影響を受けずに心臓を撮影することが可能です。

また、より鮮明な画像・動画の撮影が可能であり、救急における心疾患の画像診断に大きな力を発揮します。



心臓血管撮影装置 (東芝製 INFX-8000V)

心臓血管の撮影には通常4~5方向からの撮影が必要になりますが、今回導入した装置は「バイプレーン」タイプで、一度に2方向からの撮影が可能であり、撮影回数を従来の半分にし、造影剤の使用量を減らすことができます。

また、この装置の特徴の1つとして、高い画像情報処理能力と高解像度モニタにより、心臓血管をより鮮明に撮影することができます。このため、より正確な検査と、治療レベルの向上が期待できます。



MRI (フィリップス社製 Ingenia 1.5T)

このMRIは特に心臓の撮影に長けている装置です。この装置は心臓の冠動脈を鮮明な画像で撮影することができ、冠動脈疾患の診断に力を発揮します。

また冠動脈をCTなどで撮影する場合には、造影剤を用いますが、このMRI装置は造影剤を使用しなくても鮮明な血管撮影ができるため、腎機能が低下している患者さんにも検査を受けていただける可能性があります。

心臓病センター医師



前列中央
塚本 喜昭 心臓病センター長/循環器内科部長
前列左
村井 治 循環器科副部長
前列右
佐々木 法常 後期研修医

後列右より
猪原 実 循環器科医長
山崎 継敬 循環器科医長
上野 明彦 後期研修医
津田 泰任
高橋 英雄

【救急患者のご紹介】

【オープン検査予約】

代表：TEL.044-544-4611 (24時間対応)

連携室直通：TEL.044-544-4638

※直通番号は右記の時間以外は病院受付に自動転送されます。(平日/8:30~17:00,土曜日/8:30~12:30)
 ※登録医の先生方のご紹介・検査予約に関しては、連携室にて対応させていただきます。

交通案内 【川崎幸病院のご案内】

■徒歩でのご来院

JR川崎駅西口より徒歩約10分

■お車でのご来院

立体駐車場タワーを含み、約80台の駐車スペースをご用意しております。

【通常車】:全長5.05m×全幅1.85m×全高1.55m以下、総重量1.90t以下、最低地上高0.1m以上

【ハイルーフ車】:全長5.05m×全幅1.85m×全高2.05m以下、総重量2.30t以下、最低地上高0.1m以上

※ハイルーフ車の駐車台数は24台までです。

■シャトルバスのご案内

川崎幸病院と川崎駅西口、

川崎幸病院と川崎幸クリニック

を結ぶ無料シャトルバスを運行しております。

※時刻表は別紙ご参照ください。



交通案内 【川崎クリニックのご案内】

■徒歩でのご来院

JR川崎駅より徒歩約5分

■お車でのご来院

駐車台数:10台まで

車体サイズ制限:全高1.55m×全幅1.75m×全長4.9m

全重量1.6tまで

■シャトルバスのご案内

川崎クリニックとJR川崎駅西口、東口を結ぶ無料シャトルバスを運行しております。

※川崎クリニックのバス待合室は1階です。

●川崎クリニック⇄西口

時	川崎クリニック発 川崎駅西口行	川崎駅西口発 川崎クリニック行
8	30	15 45
9	00 30	15 45
10	00 30	15 45
11	00	15
12		
13	00 30	15 45
14	00 30	15 45
15	00	15

●川崎クリニック⇄東口

時	川崎クリニック発 川崎駅東口行	川崎駅東口発 川崎クリニック行
8	10 30 50	00 20 40
9	10 30	00 20 40
10		
11		
12	50	
13	10 30 50	00 20 40
14	10 30 50	00 20 40
15	10 30	00 20 40

